

上場会社名 アトラ株式会社 上場取引所  
 コード番号 6029 URL <http://www.artra-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久世 博之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田中 雅樹 (TEL) 06-6533-7622  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年12月期第2四半期の業績 (平成27年1月1日～平成27年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	1,028	—	89	—	103	—	58	—
26年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年12月期第2四半期	22.61		21.08					
26年12月期第2四半期	—		—					

(注) 平成26年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第2四半期及び平成27年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	1,900	605	31.8
26年12月期	1,625	546	33.6

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 605百万円 26年12月期 546百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年12月期の業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,075	—	248	—	260	—	167	—	64.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年12月期 2 Q	2,600,000株	26年12月期	2,600,000株
27年12月期 2 Q	77株	26年12月期	—株
27年12月期 2 Q	2,599,964株	26年12月期 2 Q	—株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については添付資料 2 ページ「1 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済政策などにより企業業績や雇用環境に緩やかな回復基調がみられましたが、不安定な海外情勢の影響もあり、なお不透明な状況が続いております。

鍼灸接骨院業界におきましては、柔道整復師、はり師・きゅう師の有資格者が順調に増加しており、新規開業数も順調に推移しております。

このような状況のもと、当社では「ほねつぎチェーン」の契約件数が順調に推移しており、また、鍼灸接骨院向けの新規機材の発掘を積極的に行い、当第2四半期累計期間において新たに取扱いを開始した機材の販売が順調に推移いたしました。また、HONEY-STYLE利用院、アトラ請求サービス会員数も順調に増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は1,028,245千円、営業利益89,167千円、経常利益103,318千円、四半期純利益58,790千円となりました。

当社は鍼灸接骨院支援事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載はしておりませんが、支援内容別の概要は以下のとおりであります。

#### ・ほねつぎチェーン

当第2四半期会計期間末におけるほねつぎチェーン加盟院数は前事業年度末から6院増加し52院となりました。各種展示会への出店やWEB広告等の効果及び既存オーナー等からの紹介などにより契約件数は順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は342,377千円となりました。

#### ・HONEY-STYLE

鍼灸接骨院のロコミ／予約システムであるHONEY-STYLEにおきましては、当第2四半期会計期間末における利用院数は前事業年度末から27院増加し、449院となりました。また、HONEY-STYLE会員数は前事業年度末から24,027名増加し、193,118名となりました。HONEY-STYLE会員数の増加も寄与し、取扱商品の販売が順調に推移いたしました。また、鍼灸接骨院向けのセミナーを積極的に開催いたしました。

以上の結果、売上高は157,115千円となりました。

#### ・アトラ請求サービス

鍼灸院・接骨院の開業が順調に推移していることから、新規開業先への積極的な営業展開により新規契約先が順調に増加しており、当第2四半期会計期間末における会員数は前事業年度から222会員増加し1,531会員となりました。会員数の増加に伴い療養費請求代行処理件数も安定的に推移いたしました。

以上の結果、売上高は134,873千円となりました。

#### ・機材、消耗品販売

機材販売につきましては、新規開業先への積極的な営業展開に加え、新たに取扱いを開始した機材の販売が好調に推移いたしました。また、消耗品販売につきましては、HONEY-STYLE利用院数及びアトラ請求サービス会員数が順調に増加しており、それぞれの利用院及び会員が利用できるECサイトによる売上が順調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は290,199千円となりました。

#### ・鍼灸接骨院経営コンサルティング

引き続き、柔道整復師、はり師・きゅう師、あん摩マッサージ指圧師等有資格者に対する経営コンサルティングやスタッフ教育などの指導を行っており、売上高は58,621千円となりました。

#### ・介護支援、その他

新規加盟店立ち上げによる加盟売上及び既存加盟店ロイヤリティ収入の安定確保に努めた結果、売上高は45,058千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比し274,515千円増加し、1,900,239千円となりました。これは主に売掛金が175,741千円、有形固定資産が48,362千円、投資有価証券が25,000千円それぞれ増加したことによります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度に比し215,573千円増加し、1,294,936千円となりました。これは主に借入金169,417千円、買掛金が52,171千円それぞれ増加したことによります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比し58,942千円増加し、605,303千円となりました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が58,790千円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月6日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,201,403	1,183,798
売掛金	125,075	300,816
商品	17,710	26,553
仕掛品	6,512	6,097
貯蔵品	640	3,514
その他	58,104	52,081
貸倒引当金	△3,919	△52
流動資産合計	1,405,527	1,572,810
固定資産		
有形固定資産	138,618	186,980
無形固定資産	37,778	42,635
投資その他の資産		
その他	74,592	128,606
貸倒引当金	△30,792	△30,792
投資その他の資産合計	43,799	97,813
固定資産合計	220,196	327,429
資産合計	1,625,723	1,900,239
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	37,369	89,540
短期借入金	70,000	—
1年内返済予定の長期借入金	52,656	90,156
未払法人税等	18,330	42,202
収納代行預り金	566,226	572,405
賞与引当金	2,240	2,660
ポイント引当金	6,017	7,550
その他	168,118	195,189
流動負債合計	920,958	999,703
固定負債		
長期借入金	117,957	249,874
退職給付引当金	6,332	8,922
資産除去債務	21,204	24,473
その他	12,909	11,962
固定負債合計	158,404	295,232
負債合計	1,079,362	1,294,936
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	288,280	288,280
資本剰余金	314,595	314,595
利益剰余金	△56,514	2,275
自己株式	—	△116
株主資本合計	546,361	605,034
新株予約権	—	268
純資産合計	546,361	605,303
負債純資産合計	1,625,723	1,900,239

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,028,245
売上原価	644,616
売上総利益	383,628
販売費及び一般管理費	294,461
営業利益	89,167
営業外収益	
受取利息	571
受取家賃	2,000
受取手数料	2,654
解約料収入	10,200
その他	1,759
営業外収益合計	17,185
営業外費用	
支払利息	1,568
賃貸費用	1,141
その他	323
営業外費用合計	3,033
経常利益	103,318
税引前四半期純利益	103,318
法人税、住民税及び事業税	40,247
法人税等調整額	4,281
法人税等合計	44,528
四半期純利益	58,790



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	103,318
減価償却費	18,663
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,866
賞与引当金の増減額(△は減少)	420
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,589
ポイント引当金の増減額(△は減少)	1,532
受取利息及び受取配当金	△571
支払利息	1,568
売上債権の増減額(△は増加)	△175,741
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,301
立替金の増減額(△は増加)	△2,766
仕入債務の増減額(△は減少)	52,171
前受金の増減額(△は減少)	1,052
収納代行預り金の増減額(△は減少)	6,178
その他	361
小計	△6,390
利息及び配当金の受取額	570
利息の支払額	△1,576
法人税等の支払額	△15,295
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△22,691</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△58,147
無形固定資産の取得による支出	△11,140
投資有価証券の取得による支出	△25,000
貸付金の回収による収入	15,136
敷金及び保証金の差入による支出	△13,078
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△92,228</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△70,000
長期借入れによる収入	270,000
長期借入金の返済による支出	△100,583
リース債務の返済による支出	△2,253
新株予約権の発行による収入	268
自己株式の取得による支出	△116
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>97,315</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△17,604</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,201,403
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,183,798</b>

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

当社は、平成27年7月29日開催の取締役会において株式分割による新株式の発行を行う旨の決議をしております。当該株式分割の内容は、次のとおりであります。

1 目的

株式分割により、投資単位あたりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の確保を目的とするものであります。

2 分割の方法

平成27年8月31日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数を1株につき3株の割合をもって分割します。

3 分割により増加する株式数

普通株式5,200,000株

4 当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における(1株当たり情報)の各数値

	当第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	7円54銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	7円03銭